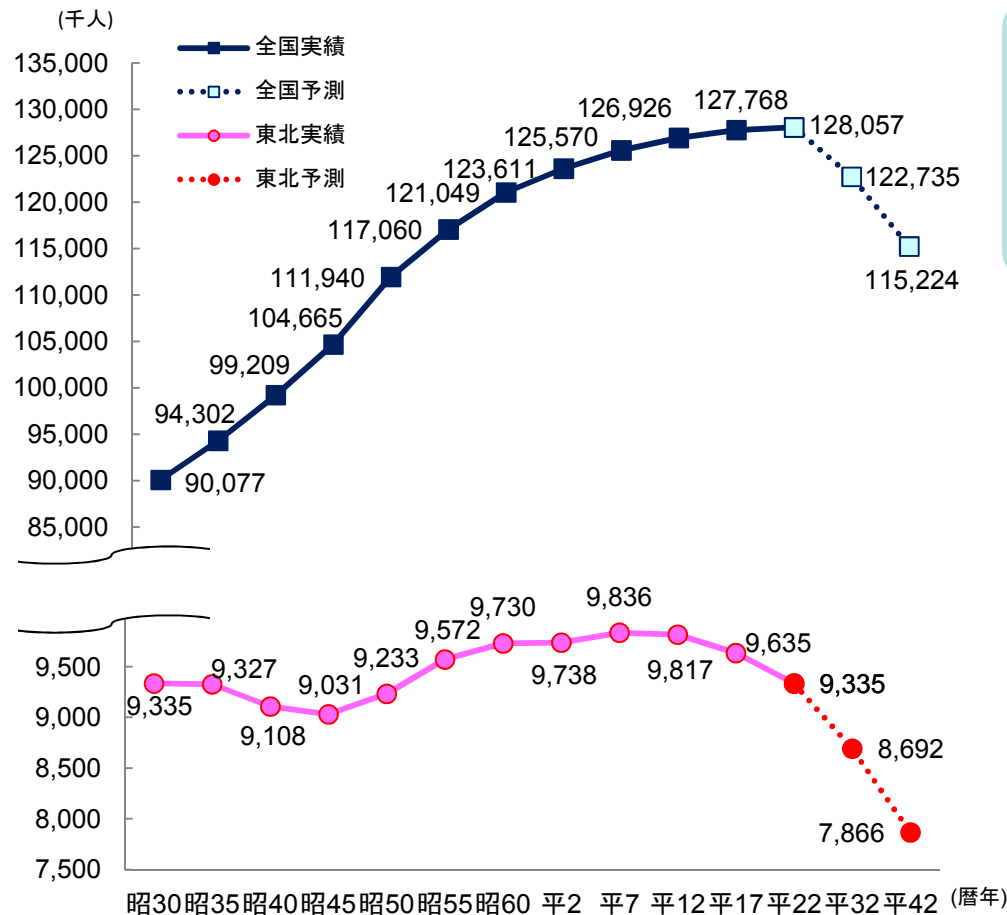


東北地方における 交通・観光等に関する現況



1. 東北地方の社会経済情勢等の動向

東北及び全国の人口推移

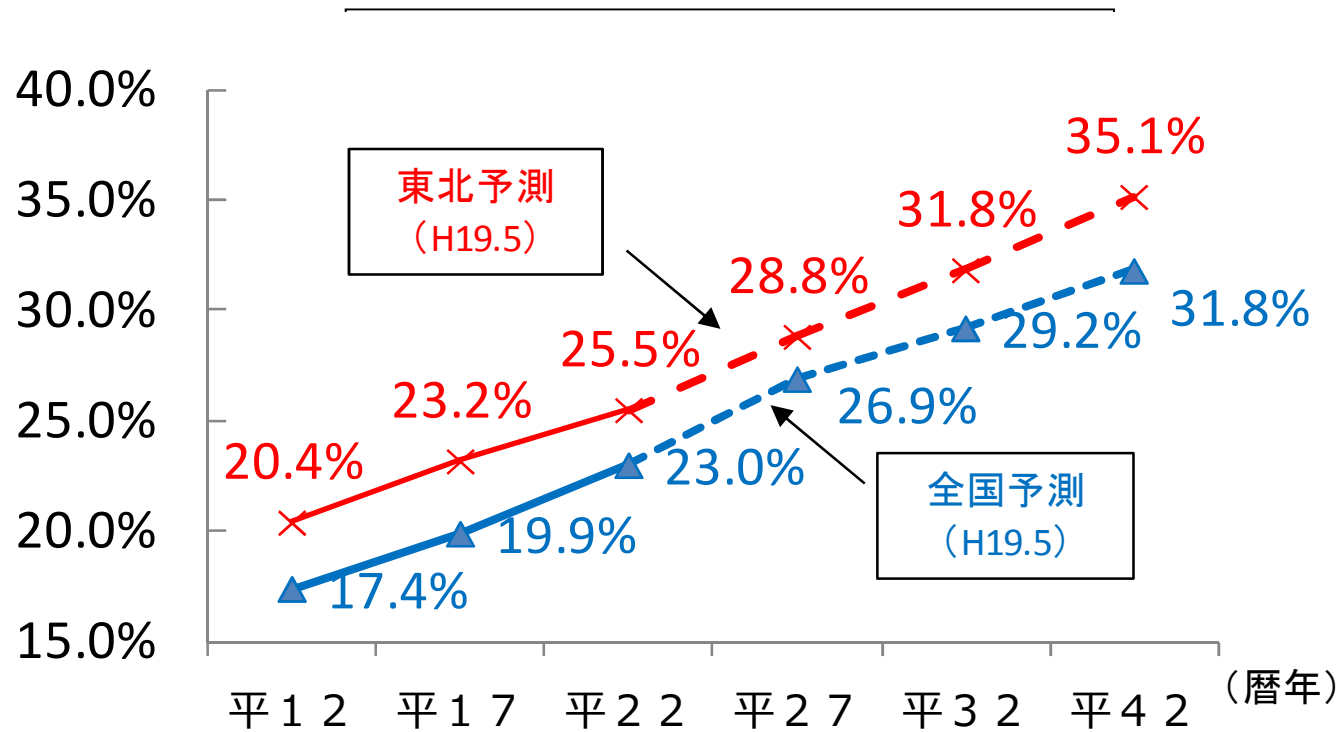


- 平成7年をピークに人口減少が継続。
- 東北地方では、全国に比べて、人口減少が速く進むと予測。

(資料)実績値は各年国勢調査。予測値は国立社会保障・人口問題研究所

1. 東北地方の社会経済情勢等の動向

- 東北地方は、全国より速く高齢化が進んでいる。

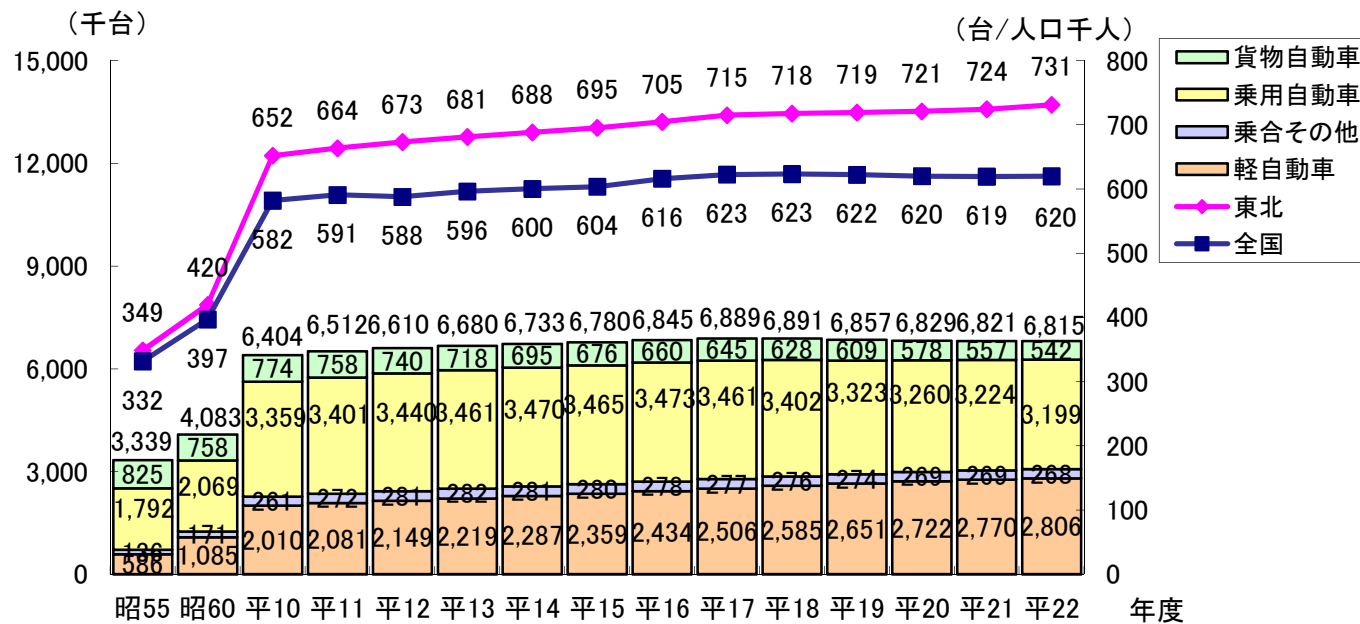


(資料)実績値は各年国勢調査。予測値は国立社会保障・人口問題研究所

1. 東北地方の社会経済情勢等の動向

- 東北運輸局管内の総保有台数は増加傾向であったが、平成19年度以降、わずかながら減少に転じた。

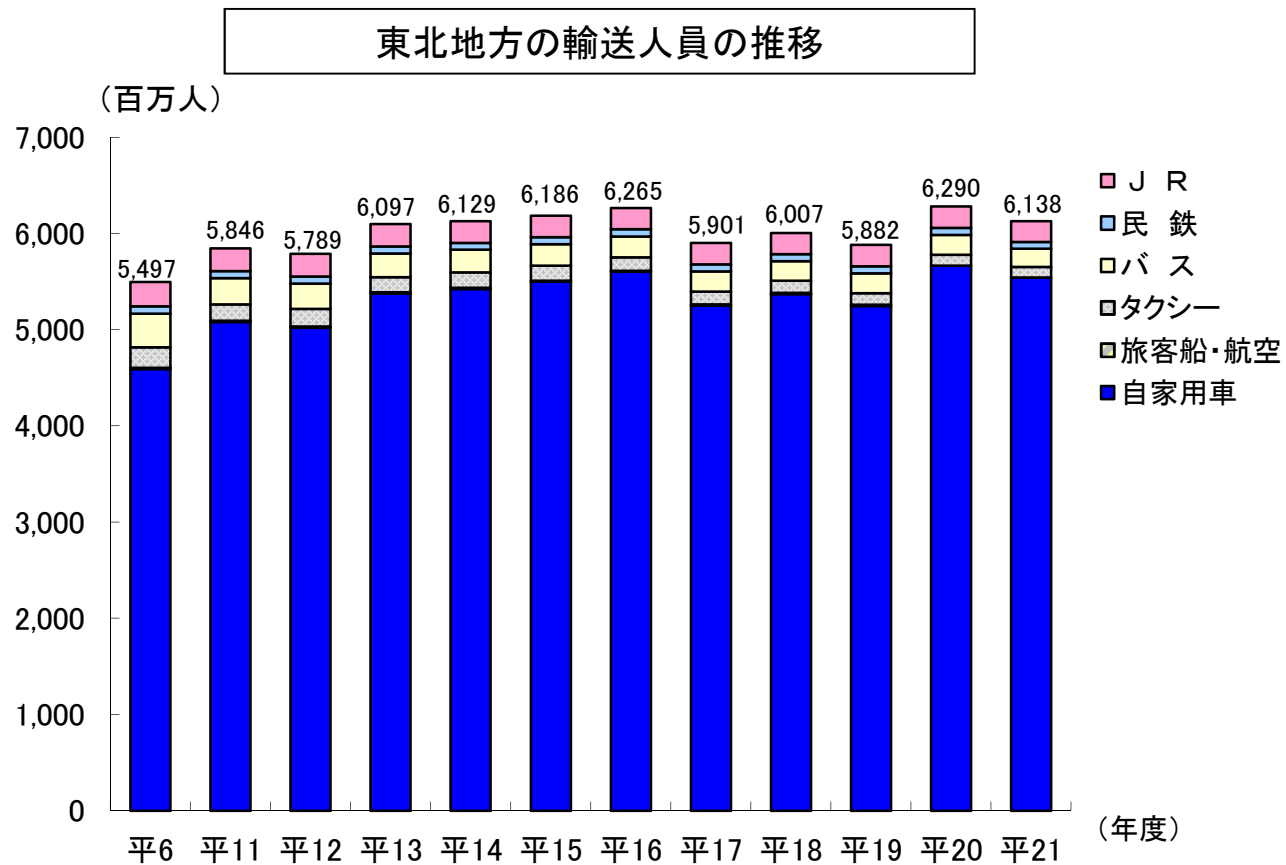
東北の自動車保有台数と保有率



(資料) 自動車保有台数は東北運輸局、人口は各年国勢調査及び住民基本台帳推計人口。
 なお、平成22年度の岩手県及び福島県の人口にあつては、東日本大震災の影響により住民基本台帳人口のデータに一部の市町村人口が反映されていないことから、以下のデータを活用。
 岩手県・・・岩手県毎月人口推計(HP)※平成23年4月1日現在
 福島県・・・福島県の推計人口(HP)※平成23年4月1日現在

2. 旅客流動の動向

- 旅客輸送人員は、減少傾向から平成20年度に増加に転じたものの、平成21年度に再び減少した。

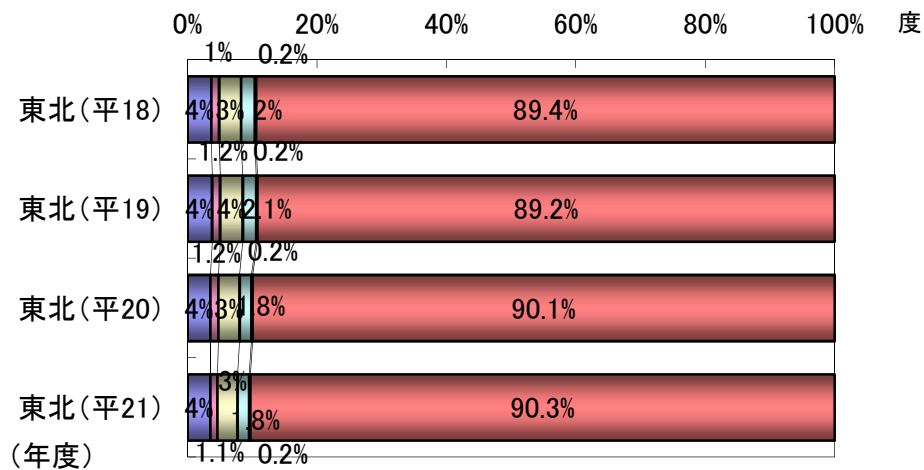


(資料)旅客地域流動調査

2. 旅客流動の動向

- 自家用車の分担率が高く、この傾向に大きな変化はみられない。90%超が自家用車であり、全国と比較しても高い。

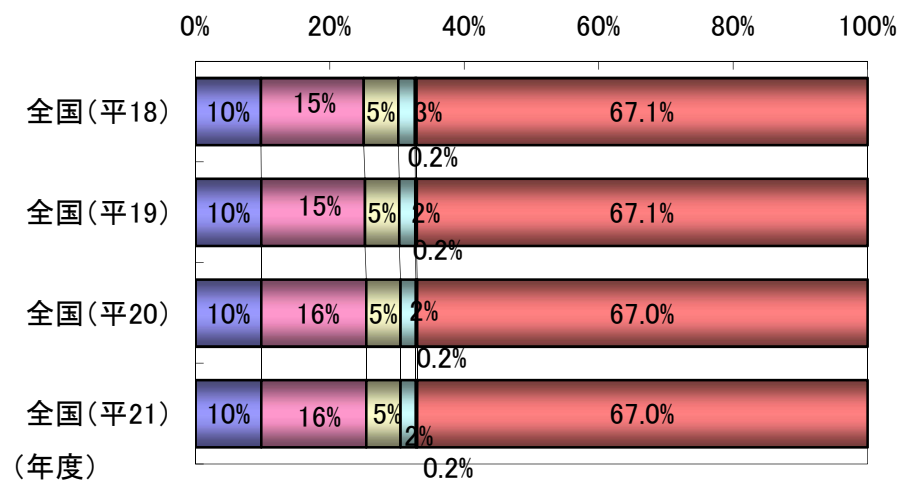
東北の旅客輸送機関分担



■ J R ■ 民鉄 ■ バス ■ タクシー ■ 旅客船・航空 ■ 自家用車

(資料)旅客地域流動調査

全国の旅客輸送機関分担

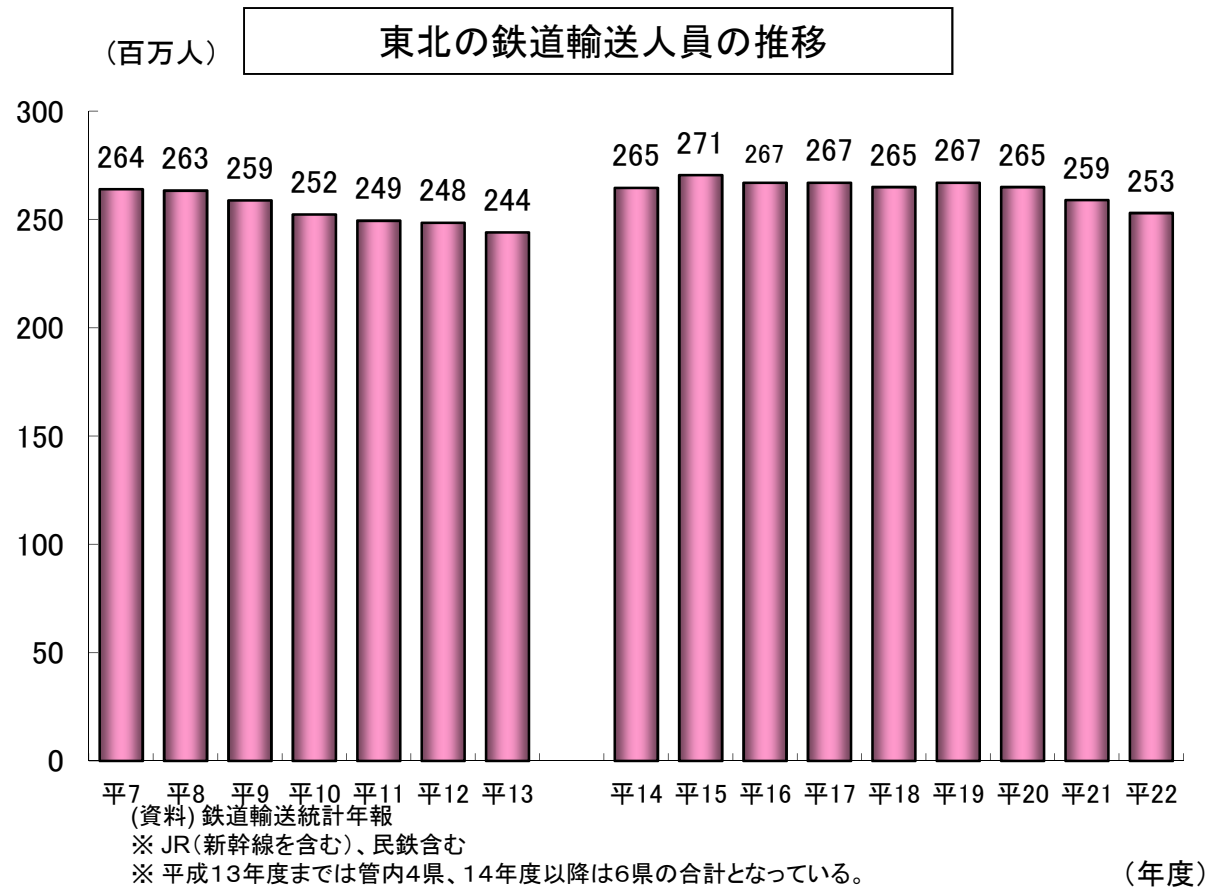


■ J R ■ 民鉄 ■ バス ■ タクシー ■ 旅客船・航空 ■ 自家用車

(資料)旅客地域流動調査

2. 旅客流動の動向

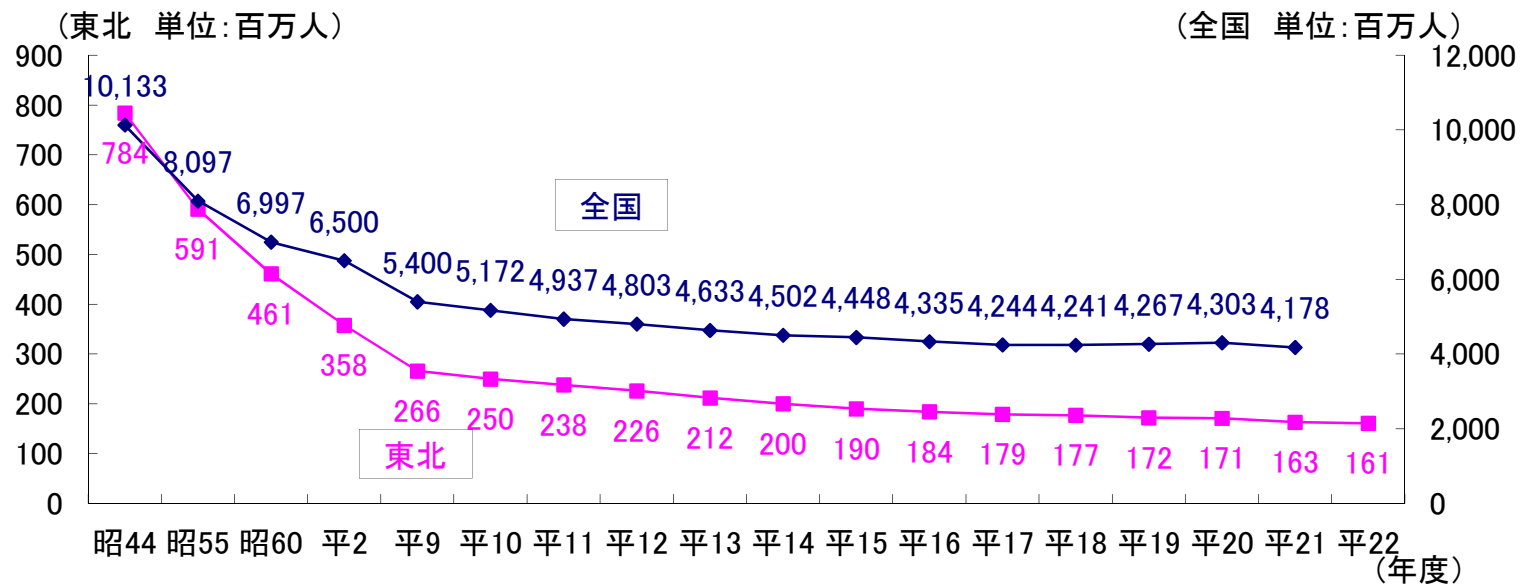
- 鉄道輸送人員全体では、横ばい傾向から近年減少傾向に転じている。



2. 旅客流動の動向

- 乗合バスの輸送人員は、東北、全国ともに減少傾向にあるが、全国は下げ止まりの傾向がみられる。

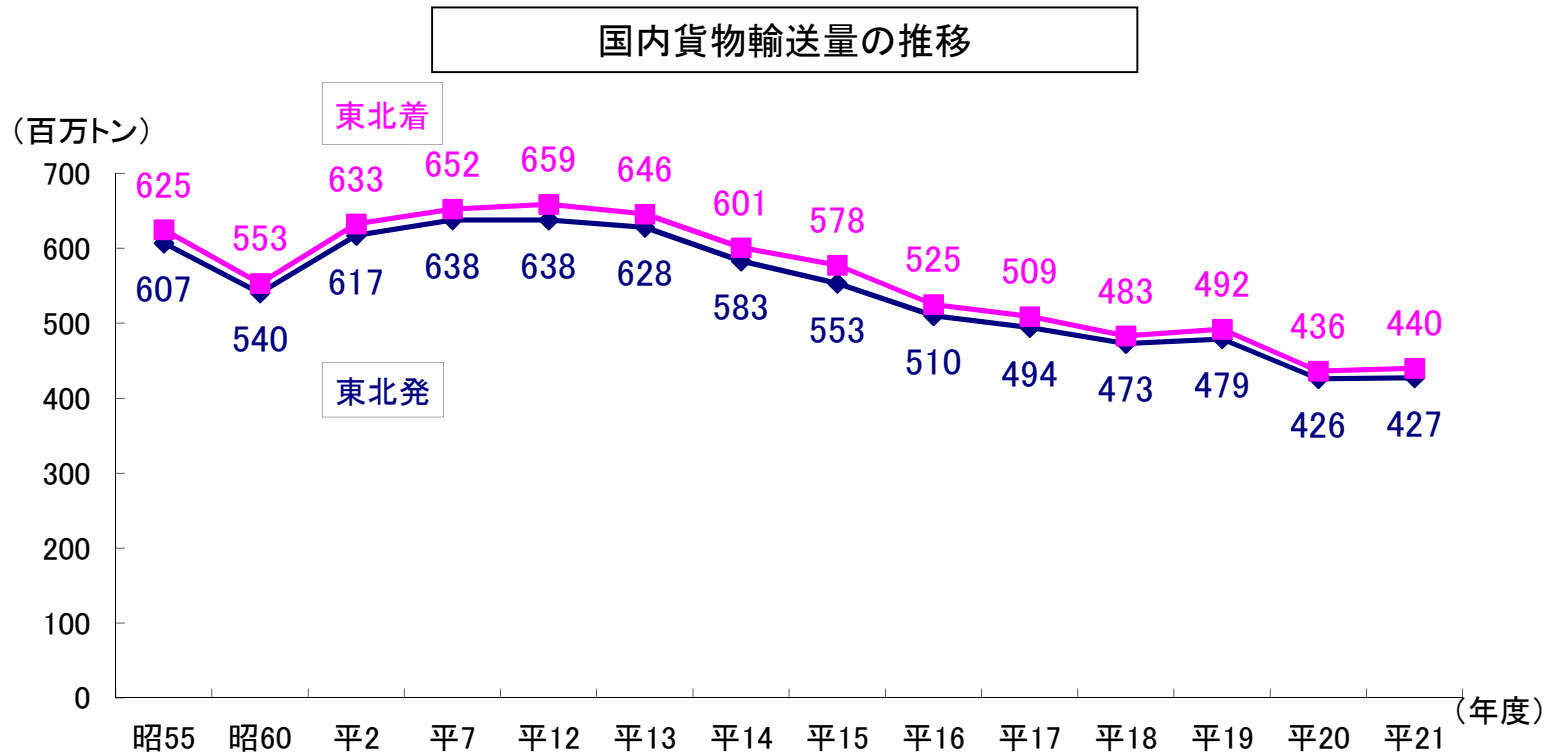
乗合バス輸送人員の推移



(資料) 東北運輸局

3. 貨物輸送の動向

- 国内貨物輸送量(トン数ベース)は、減少傾向から、平成21年度に増加に転じた。

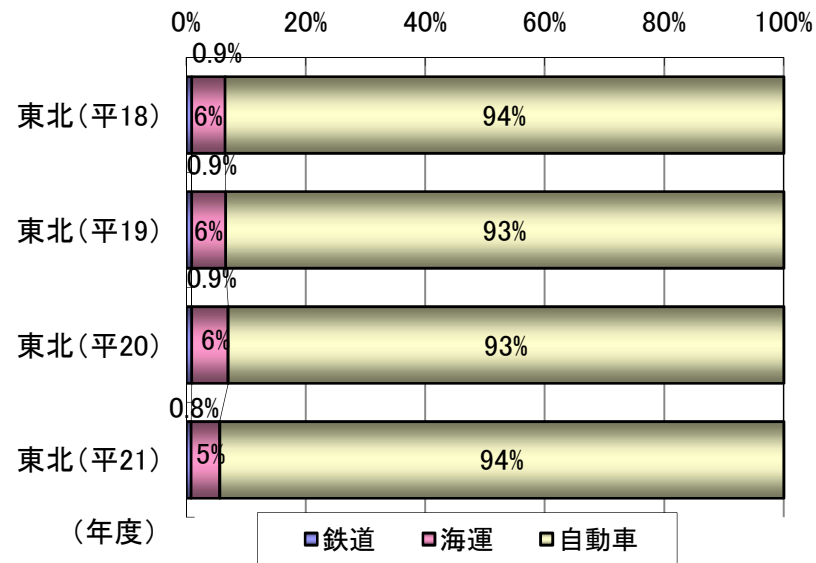


(資料) 貨物地域流動調査

3. 貨物輸送の動向

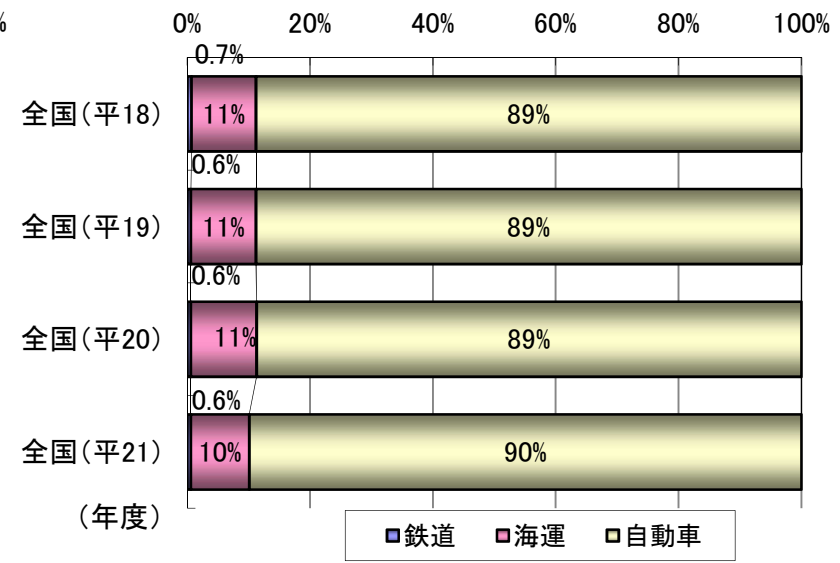
- 全国に比べ自動車の分担率が高く、90%以上が自動車による輸送。

東北の貨物輸送機関分担率



(資料) 貨物地域流動調査

全国の貨物輸送機関分担率

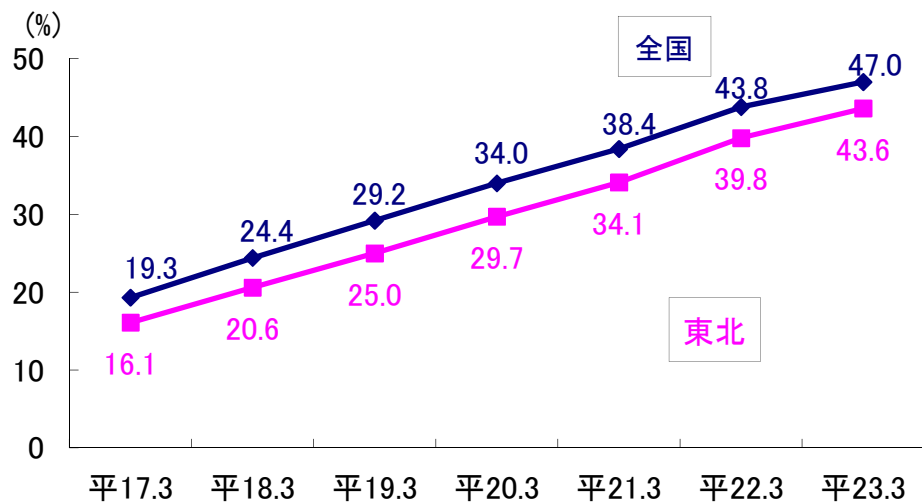


(資料) 貨物地域流動調査

4. 環境・バリアフリーの動向

- 低公害車普及率は一貫して増加しており、平成23年3月時点で、普及率は約4割。
- 全国と比べると低い水準。

低公害車普及率



(資料) 東北運輸局

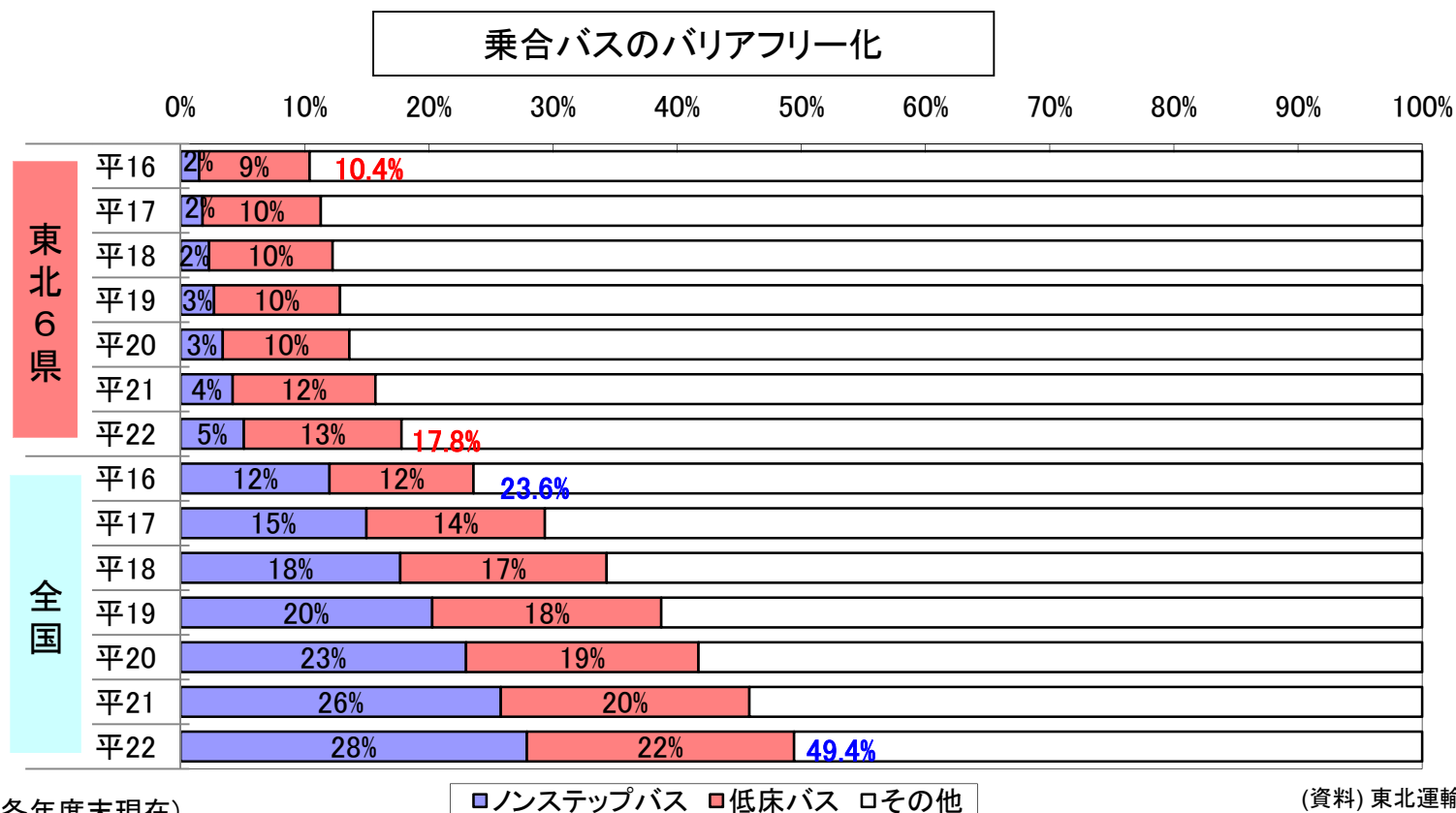
CNGスタンドの導入状況

		北海道	東北	関東	東海・北陸	近畿	中国・四国	九州	合計
平成19年12月末	CNG燃料スタンド数 (箇所)	8	5	132	66	72	19	22	324
	昇圧供給装置 (小型充填機) (台)	5	12	255	145	196	33	34	680
平成20年12月末	CNG燃料スタンド数 (箇所)	8	5	133	66	73	20	22	327
	昇圧供給装置 (小型充填機) (台)	2	12	252	143	196	35	34	674
平成21年12月末	CNG燃料スタンド数 (箇所)	8	6	140	67	79	22	22	344
	昇圧供給装置 (小型充填機) (台)	2	12	250	143	196	35	34	672
平成22年3月末	CNG燃料スタンド数 (箇所)	9	6	136	67	79	23	22	342
	昇圧供給装置 (小型充填機) (台)	2	12	242	143	155	36	24	614
平成23年3月末	CNG燃料スタンド数 (箇所)	8	6	130	68	77	24	20	333
	昇圧供給装置 (小型充填機) (台)	2	12	237	144	155	36	26	612

(資料) 社団法人日本ガス協会

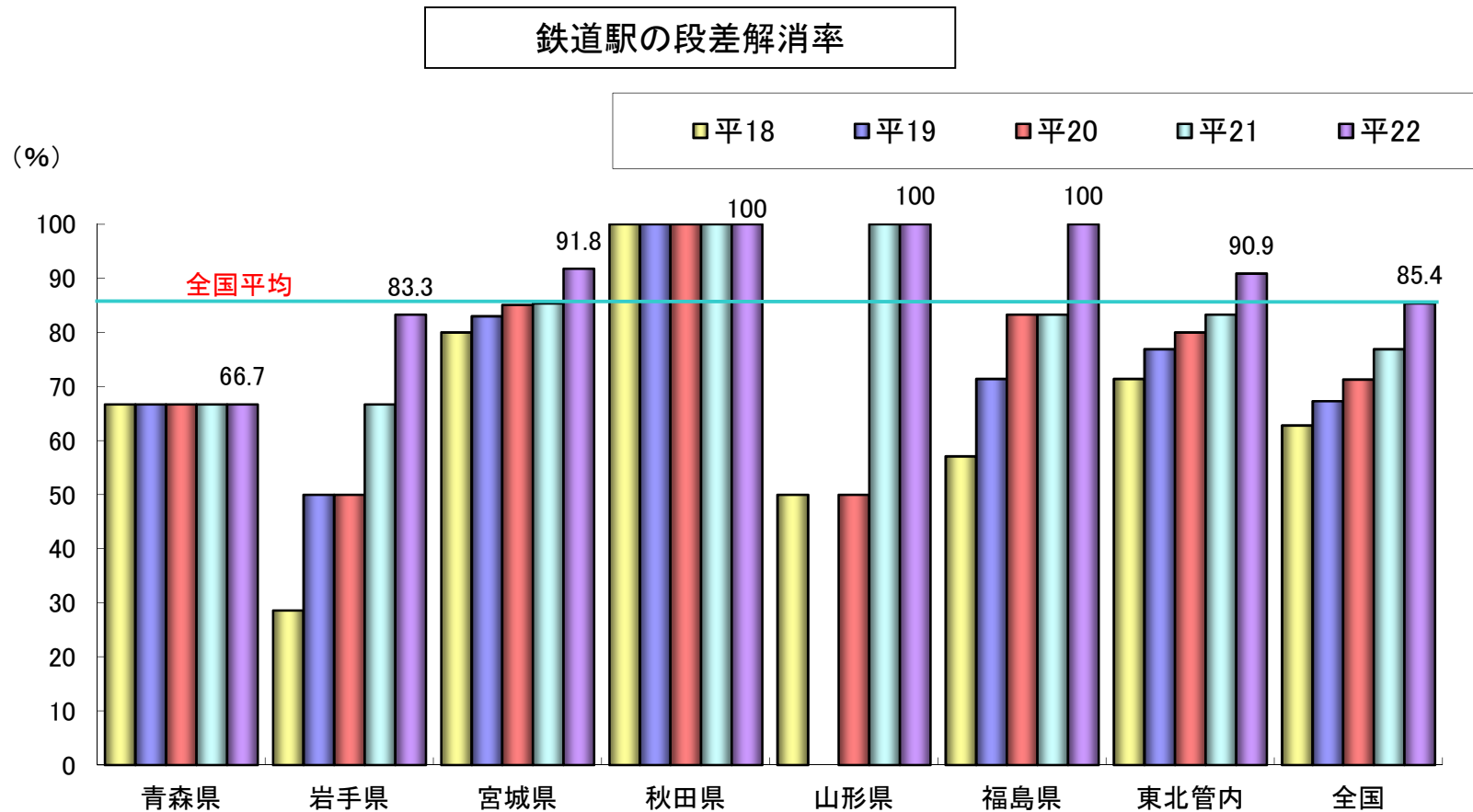
4. 環境・バリアフリーの動向

- バリアフリー化が進みつつあるものの、全国に比べてその進捗は低い。
- 平成22年度末の東北の導入率17.8%は、全国の導入率49.4%の4割弱。



4. 環境・バリアフリーの動向

- 鉄道駅の段差解消率は上昇傾向にあり、バリアフリー化が進む。



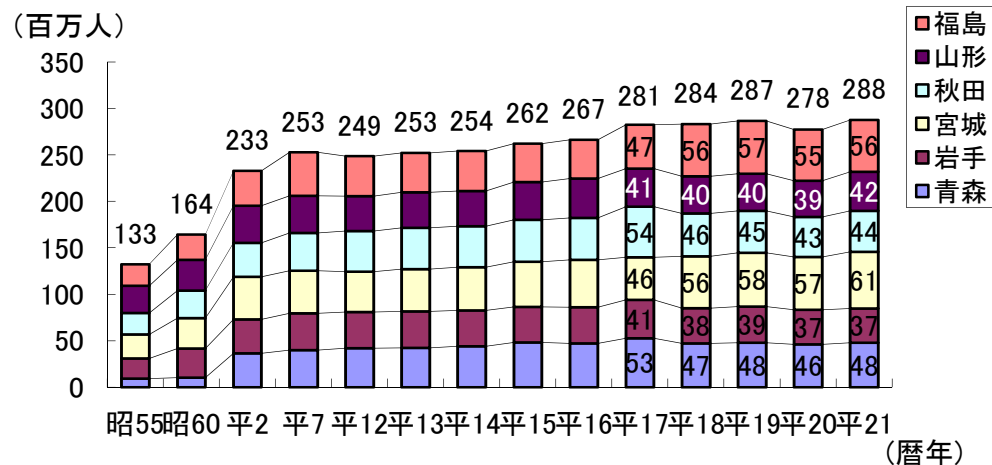
(資料) 東北運輸局

※ 1日の利用者数5千人以上の駅を対象に、各年度末の値を算出

5. 観光の動向

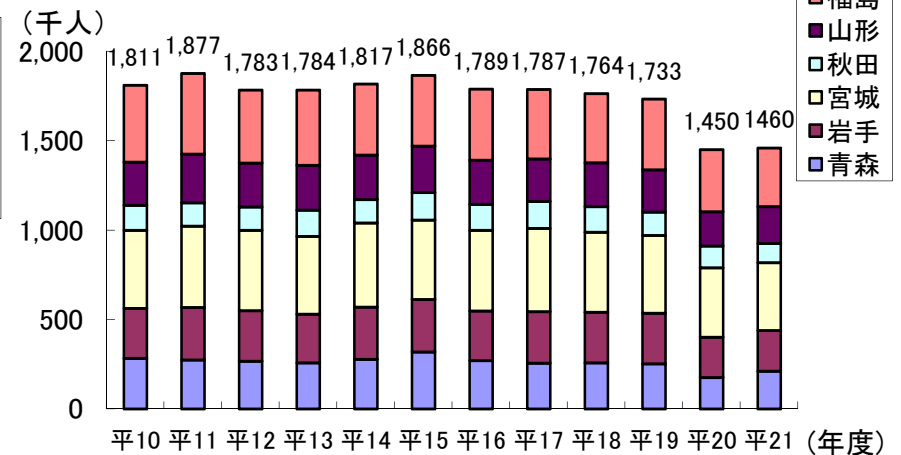
- 観光入込客数は平成20年度に減少したが、平成21年は、およそ1,000万人増加。
- 宿泊客数は減少傾向にあるが、平成21年度は、平成20年度からおよそ1万人増加。

県別観光入込客数



(資料) 各県「観光統計」

宿泊人数の推移

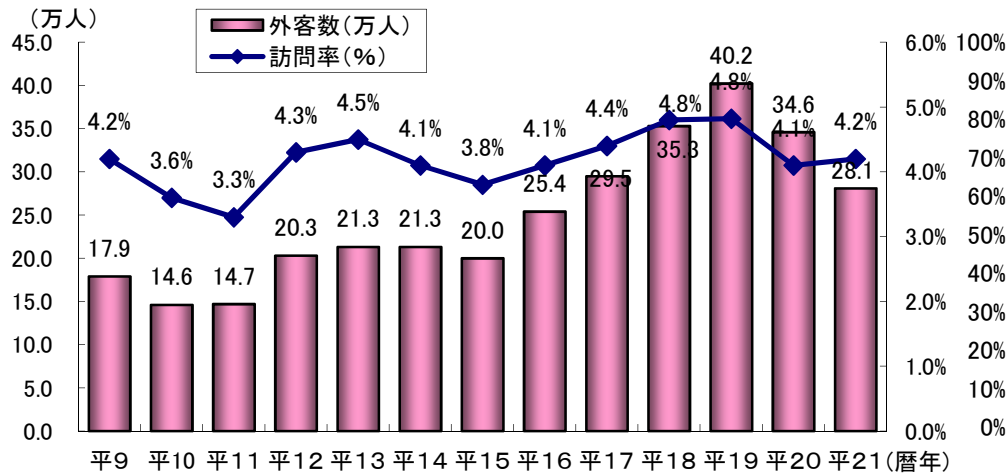


(資料) JTB宿泊白書

5. 観光の動向

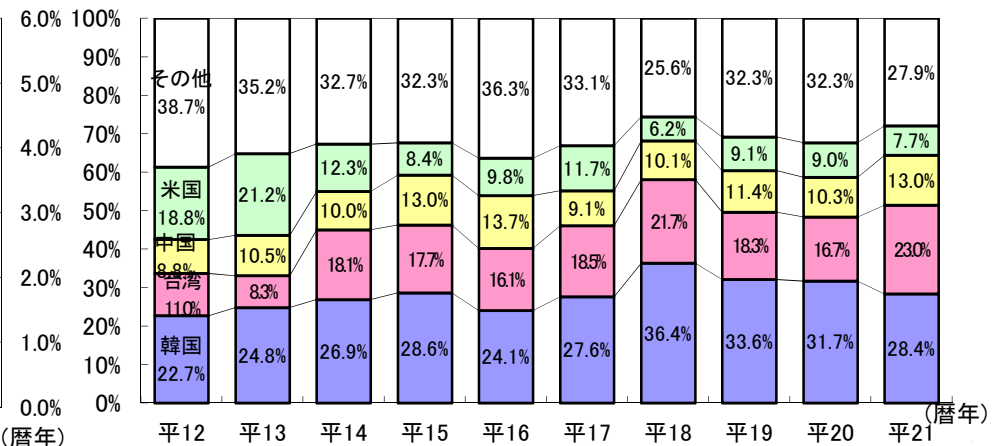
- 東北における外国人旅行者数は全国同様に平成19年まで増加傾向にあったが、平成21年度は、ピーク時からおよそ12万人減少。
- 国籍別にみると、特にアジアからの旅行者が多く、中国籍、台湾籍、韓国籍の旅行者が全体の6割を超える。

東北への外国人旅行者数



(資料) 東北運輸局推計値

東北への国籍別外国人旅行者数



(資料) 東北運輸局推計値